

ヨミノワ・シンクタンク 半期予測 第1号

発行日	2026年7月17日
発行者	合同会社ヨミノワ 代表社員 吉野智人（秋田県秋田市）
判定日	2026年12月末（答え合わせは2027年1月、当社Webサイト /think-tank にて公開）
本文書の性格	発行時点における当社の経済見通しの記録。電子署名および認定タイムスタンプにより、発行後に一切の改変がないことを証明する。

第1部 前提となる現在地（2026年7月中旬時点）

日銀政策金利1.00%（6月利上げ後）、ドル円162円前後（4～5月の為替介入後も円安基調継続）、長期金利（新発10年国債利回り）2.6%台後半、日経平均は一時7万円タッチ。

第2部 2026年下半年期予測（8項目・2026年12月末時点で判定）

#	予測	当社確率（主観確率）	判定ソース
1	日銀は年内にもう一段利上げし、政策金利は 1.25% になっている	55%（1.00%据え置き40%／それ以外5%）	日本銀行公表資料
2	ドル円の12月末終値は 155～172円 のレンジ内	70%（172円超15%／155円未満15%）	市場終値
3	為替介入が再度あっても、 円安基調そのものは転換しない	75%	市場推移
4	長期金利（新発10年国債利回り）は12月末時点で 2.4～3.0%	60%（3.0%超25%／2.4%未満15%）	市場データ
5	全国コアCPI（生鮮食品除く・2026年11月分）は 前年比+2.0%以上	80%	総務省統計局
6		70%	東京商工リサーチ等

	2026年通年の全国企業倒産は 1万件超 、人手不足関連倒産 は高水準継続		
7	主要AIサービスの 同性能あたり利用価格はさらに低下 し、 中小企業のAI導入ハードルは 一段と下がる	85%	各社公表価格
8	秋田県の新設住宅着工戸数は 前年割れが継続 する	75%	国土交通省 住宅着工統計

第3部 小規模事業者への含意（この半年、何をすべきか）

- ・予測1・4：**借入金利は今が「これからの標準」の入口**。変動金利の借入がある方は、金利1.5%時代の返済シミュレーションを今のうちに。
- ・予測2・3：**輸入コスト高の定着**。価格転嫁は「できたら」ではなく経営の必須科目。
- ・予測6：**取引先の与信管理**が地方でも他人事でなくなる。売掛の集中と回収サイトの見直しを。
- ・予測7：数少ない明るい材料。**AI導入の投資対効果は半年ごとに改善**。様子見のコストの方が高くなる局面。

第4部 答え合わせの約束

2027年1月に、当社Webサイト（yominowa.com/think-tank）にて全8項目を○×△で判定し、ひとこと反省を添えて公開アーカイブする。本PDF自体は改変しない（改変できないことが本文書の価値である）。

第5部 免責

本文書の内容は当社の見解であり、将来の成果を保証するものではありません。特定の金融商品の売買を推奨するものではなく、個別の経営判断・投資判断はご自身の責任で行ってください。

署名宣言 本文書が発行日時点の当社予測であり、以後変更されていないことを証明するため、電子署名及びタイムスタンプを付す。

合同会社ヨミノワ
代表社員 吉野 智人

